

## 現代コミュニケーション学科の教育

### 【アドミッション・ポリシー】

現代コミュニケーション学科では、キリスト教に基づく人間教育を基礎として、グローバルな視野をもって職場や地域に貢献できる心身ともに健全で有為な人材の育成を目指している。したがって本学科への入学を希望する受験生には、以下のような能力・資質・適性が求められる。

- 1) 学習への強い意欲・知識欲・探究心。
- 2) 日本語と英語の基礎学力。
- 3) 自己表現力と基本的なコミュニケーション能力。
- 4) 社会問題に関心をもち、認識する力。
- 5) 自分と異なるものを理解し、公正に受容できる心。

### 【カリキュラム・ポリシー】

本学のカリキュラムは、キリスト教に基づく人間教育を基本理念として、学生一人ひとりが社会生活に必要な知識や技術の修得を通じて将来に向けて自己実現をはかると同時に、社会に貢献できる豊かな人間性を身につけるように展開されている。

現代コミュニケーション学科は、こうした建学の理念と教育方針に沿って、以下の事項をカリキュラムの柱としている。

- 1) 英語と中国語を中心に外国語の運用能力を身につけ、日本語の表現力を磨く。
- 2) 自己理解を深め、多様な他者との対人関係を円滑に進めるためのコミュニケーション能力を強化する。
- 3) ICT スキルや電子メディアの利用法の習得と共に、各種メディアの特性を理解する。
- 4) 現代社会を生きる個として自らの世界観や人生観を育み、将来の進路を決定する。
- 5) グローバルな視点と職場や地域に貢献しようとする意欲を強化する。

### 【ディプロマ・ポリシー】

現代コミュニケーション学科では、異なる文化や価値観をもつ人々と共に生きるのに必要なコミュニケーション能力を身につけ、グローバルな視野をもって自らの進路と役割を見出し、積極的に職場や地域に貢献しようとする人材の育成を目指している。したがって、以下の資質・能力を身につけていることを学位授与の条件とする。

- 1) 英語、中国語など外国語の実用的な運用能力と日本語の豊かな表現力。
- 2) 多様な人々との信頼関係を築き、維持しうる洞察力と社会性。
- 3) 社会生活に必要な ICT スキルとメディア・リテラシー。
- 4) 現代社会の抱える問題や争点を理解し、解決する方策を探ろうとする姿勢。
- 5) 他者との共生を実現する社会形成に参加しようとする意志。

## 幼児教育科の教育

### 【アドミッション・ポリシー】

幼児教育科は、従来から自己を含めて「人間理解」ということに重点をおいてきました。子どもを通して人間を理解し、自分自身を知るためにも、この人間をとりまく現代社会、時代についての深い考察のできる人、グローバルな観点をもてる人を育てようとしています。保育等の実践に結びつけると、子どもの発達と教育を様々な角度から見ることのできる幅広い視野と思考力をもつ学生、人間関係の豊かな学生、生命を尊重できる人であって欲しいと願います。また、キリスト教教育を通して、キリスト教的世界観、人間観を育てていきます。

したがって、入学者には以下のような資質・能力・適性を求めています。

- 1) 何かに打ち込んでいること。
- 2) 子どもを含めて人間が好きであり、人間関係が豊かであること。
- 3) 次のような力が身につけていること。
  - ① よく見て、聞いて、自分の頭で考える力。論理的思考力。
  - ② 好奇心が旺盛で、周囲の環境を自分との関連で意味づけていく力。
  - ③ 現代社会、時代について認識する力。
  - ④ 自己表現力や基本的なコミュニケーション能力。文章を的確に理解し、適切に表現する能力。様々な問題について自分の考えをもち、筋道を立てて意見を述べる力。
  - ⑤ 国語と英語の基礎学力。

### 【カリキュラム・ポリシー】

本学のカリキュラムは、キリスト教に基づいた人間教育の下、学生ひとりひとりが必要な知識や技能の修得を通じて将来に向けての自己実現をはかると同時に、社会に貢献できる豊かな人間性を身につけるよう展開されています。

幼児教育科は、こうした建学理念と教育方針に沿って、以下の事項をカリキュラムの柱としています。

- 1) 自ら学び、自ら動く「主体的な学び」の姿勢を身につける。
- 2) 言語表現能力と他者とのコミュニケーション能力を習得する。
- 3) 自らの人生観と職業観を育成する。
- 4) 乳幼児の教育・保育について専門的知識と実践力を身につける。
- 5) 子どもの人権のために、どのような貢献が可能か考え、実践できる。

### 【ディプロマ・ポリシー】

幼児教育科では、社会に出る際には、自らの可能性を信じ、強い意志を持って実践できる女性になって欲しいと願っています。したがって、最終的に以下に挙げる資質・能力を身につけているものに、「短期大学士」の学位を授与します。

- 1) 共通科目、専門科目の履修を通して、豊かな人間性を養うとともに、自ら学び自ら動く「主体的な学び」の姿勢、他者との人間関係調整能力を身につけている。
- 2) 乳幼児やその教育・保育に対する使命感・責任感を感じ、専門的な知識と技能を有し、それらを実践できる。
- 3) 子どもやそれを取り巻く社会における諸問題に対して、どのような貢献が可能か、自分なりの考えを持ち、それを表現し、行動することができる。